10-1 九州地方とその周辺の地震活動(2020年5月~10月) Seismic Activity in and around the Kyushu District (May - October 2020)

気象庁 福岡管区気象台 Fukuoka Regional Headquarters, JMA

今期間,九州地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 36 回, M5.0 以上の地震は 3 回発生した. このうち最大のものは,2020 年 6 月 14 日に奄美大島北西沖で発生した M6.3 の地震であった.

2020 年 5 月~ 10 月の M4.0 以上の地震の震央分布を第 1 図 (a) 及び (b) に示す.

主な地震活動は以下のとおりである.

(1) 薩摩半島西方沖の地震(M6.2, 最大震度 3, 第 2 図)

2020年5月3日20時54分に薩摩半島西方沖の深さ10km(CMT解による)でM6.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は北西 - 南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である。この地震の後、1週間程度やや活発な地震活動が見られた。

(2) 沖縄本島近海(沖永良部島付近)の地震(M4.9, 最大震度 4, 第3図)

2020年5月23日04時33分に沖縄本島近海(沖永良部島付近)の深さ48kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した.この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した.

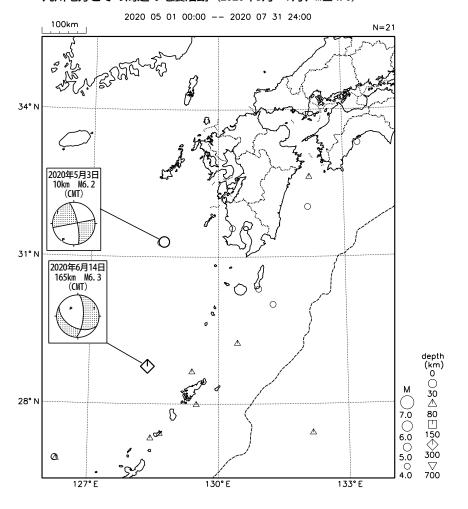
(3) 薩摩半島西方沖の地震(M4.3, 最大震度 4, 第 4 図)

2020年6月1日09時33分に薩摩半島西方沖の深さ9kmでM4.3の地震(最大震度4)が発生した. この地震は地殻内で発生した. 発震機構(CMT解)は北西-南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である.

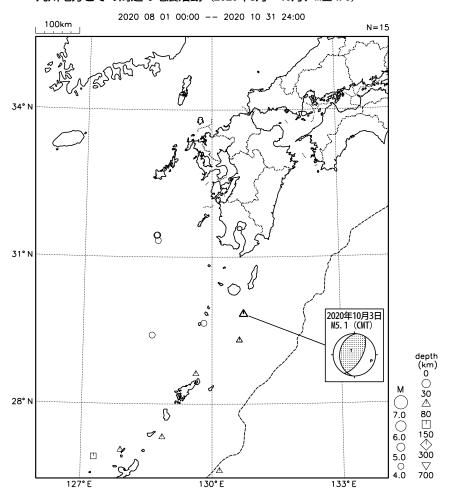
(4) 奄美大島北西沖の地震(M6.3, 最大震度 4, 第 5 図)

2020年6月14日00時51分に奄美大島北西沖の深さ165kmでM6.3の地震(最大震度4)が発生した. この地震はフィリピン海プレート内部で発生した.発震機構(CMT解)はフィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸をもつ型である.

九州地方とその周辺の地震活動(2020年5月~7月、M≥4.0)



九州地方とその周辺の地震活動(2020年8月~10月、M≥4.0)



第 1 図 (a) 九州地方とその周辺の地震活動(2020 年 5 月~ 7 月,M \geq 4.0,深さ \leq 700km)

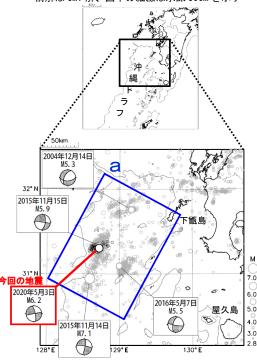
Fig. 1(a) Seismic activity in and around the Kyushu district (May – July 2020, M \geq 4.0, depth \leq 700 km).

第 1 図 (b) つづき (2020 年 8 月~ 10 月, $M \ge 4.0$, 深さ ≤ 700 km) Fig. 1(b) Continued (August – October 2020, $M \ge 4.0$, depth ≤ 700 km).

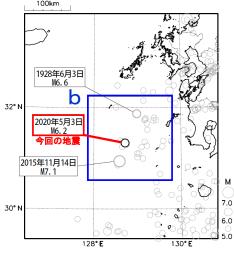
5月3日 薩摩半島西方沖の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2020年5月31日、 深さ0~30km、M≧2.8)

2020 年 5 月の地震を濃く表示、図中の発震機 構解は CMT 解、図中の細線は水深 500m を示す



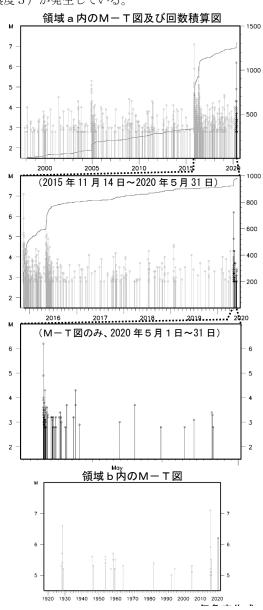
震央分布図 (1919年1月1日~2020年5月31日、 深さ0~90km、M≥5.0) 2020年5月の地震を濃く表示



2020 年 5 月 3 日 20 時 54 分に薩摩半島西方沖の深さ 10km (CMT 解による)で M6.2 の地震(最大震度3)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構 (CMT 解)は北西-南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である。この地震の後、1 週間程度やや活発な地震活動が見られた。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域 a)では、M4.0以上の地震が時々発生している。2015年11月14日にはM7.1の地震(最大震度4)が発生し、鹿児島県の中之島(海上保安庁)で30cmの津波を観測している。

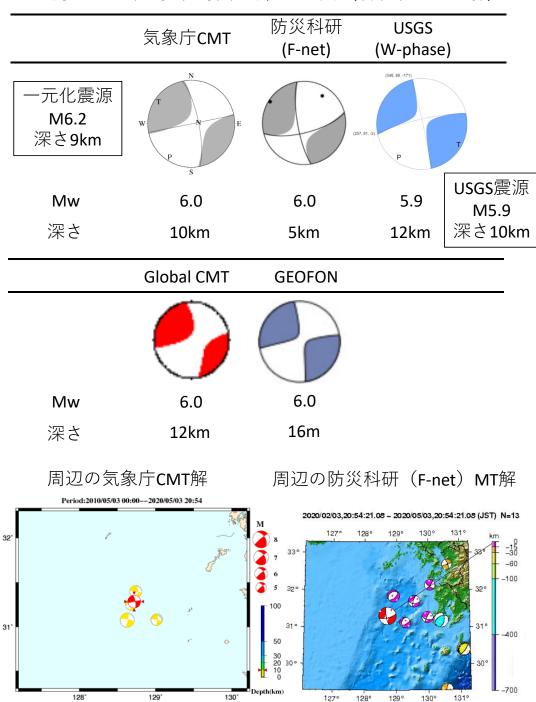
1919 年以降の活動をみると、今回の地震活動周辺 (領域 b) では、1928年6月3日にM6.6の地震(最 大震度 5) が発生している。



第2図(a) 2020年5月3日 薩摩半島西方沖の地震

Fig. 2(a) The earthquake west of the Satsuma Peninsula on May 3, 2020.

5月3日 薩摩半島西方沖の地震(各機関のMT解)

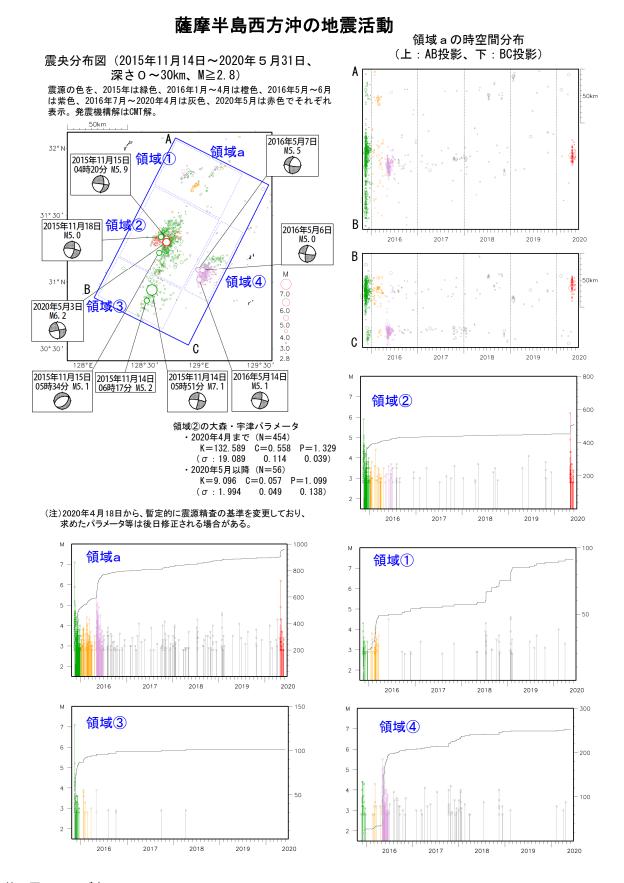


防災科研(F-net):http://www.fnet.bosai.go.jp/event/joho.php?LANG=ja USGS(W-phase):https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/map/

Global CMT: https://www.globalcmt.org/CMTsearch.html

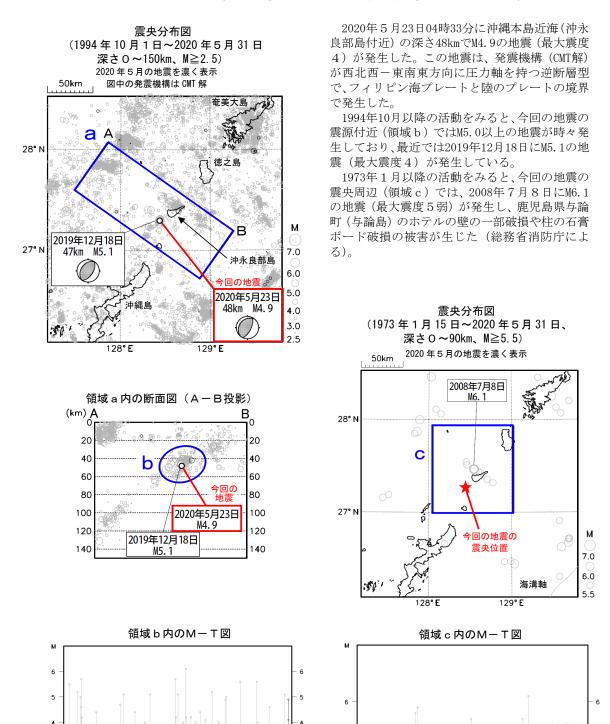
GEOFON MT: http://geofon.gfz-potsdam.de/eqinfo/list.php?mode=mt

第2図(b) つづき Fig. 2(b) Continued.



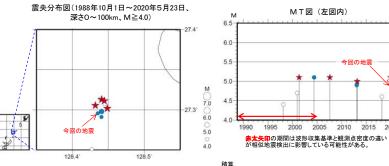
第2図(c) つづき Fig. 2(c) Continued.

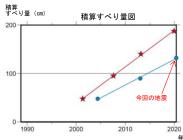
5月23日 沖縄本島近海(沖永良部島付近)の地震



第3図(a) 2020年5月23日 沖縄本島近海(沖永良部島付近)の地震 Fig. 3(a) The earthquake near Okinawajima Island on May 23, 2020.

5月23日 沖縄本島近海の地震(相似地震)





2020年5月23日の沖縄本島近海の地震 (M4.9、最大震度4) について強震波形による相関解析を行った結果、 既往相似地震グループの最新の地震として検出された(上図の●:今回を含めM4.9~5.1の3地震)*。 ※ 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合、相似地震として検出している。また、相似地震のグループ分け はコヒーレンスを用いて機械的に行っている。

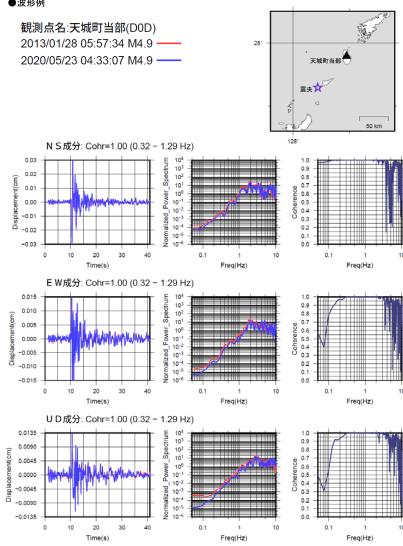
溜渕功史・中村雅基・山田安之 (2014): 全国を対象とした客観的な相似地震の抽出, 気象研究所技術報告, 72, 5-16.

●推定年平均すべり量等

| - | グループ | G#r | TT #51 MA | 震度 | | 発生間隔 | | | 平均すべり量 (cm/年) |
|----|---------------------|-----|-----------|----|----|------|------|--------|------------------|
| | 四数 | 十均M | 最大 | 最小 | 平均 | 最短 | 最大 | (cm/年) | |
| | ★A | 4 | 5.08 | 4 | 4 | 6.21 | 5.57 | 6.78 | 7.56 |
| 地震 | B | 3 | 4.97 | 4 | 4 | 8.00 | 7.32 | 8.69 | 5.27 |

すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式[Hanks and Kanamori (1979)]及び地震モーメントとすべり量の関係式 [Nadeau and Johnson(1998)]を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

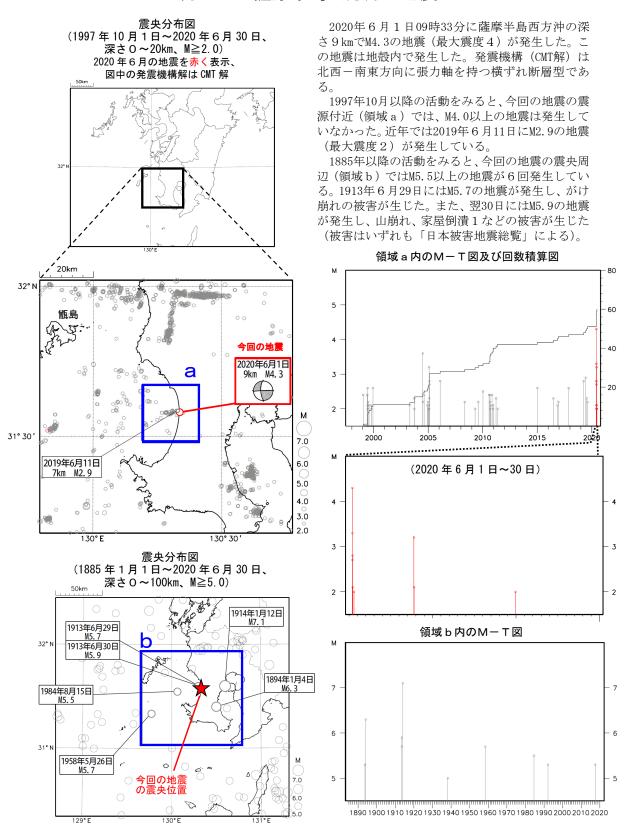
●波形例



変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換して求めたもの

第3図(b) つづき Fig. 3(b) Continued.

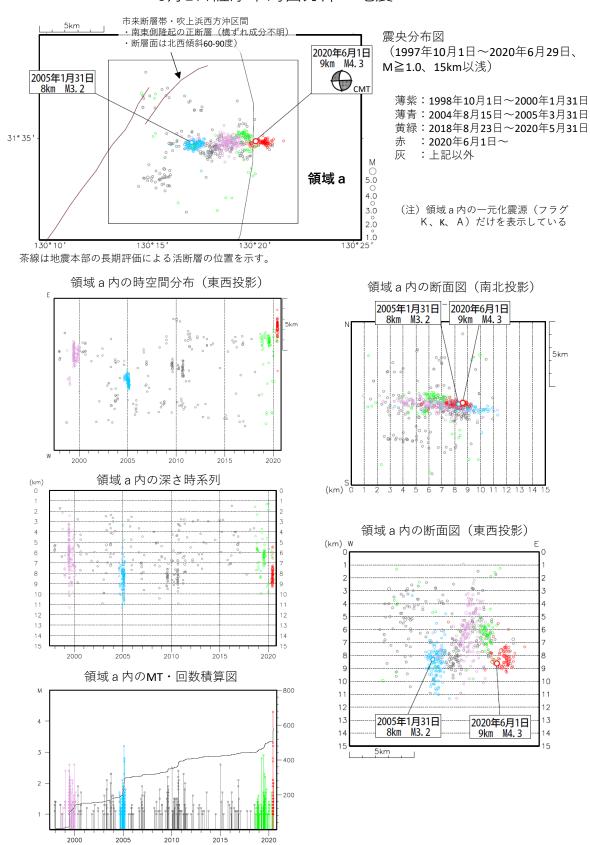
6月1日 薩摩半島西方沖の地震



第4図(a) 2020年6月1日 薩摩半島西方沖の地震

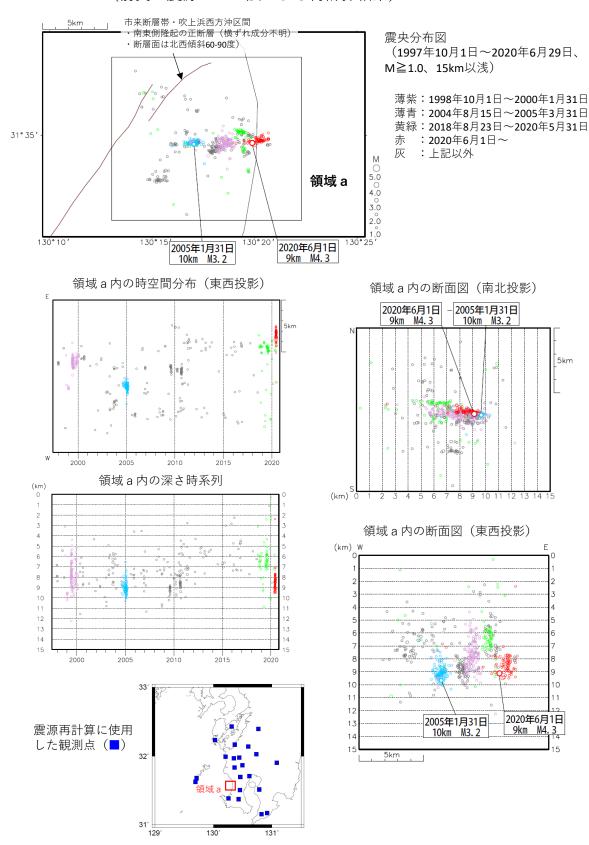
Fig. 4(a) The earthquake west off the Satsuma Peninsula on June 1, 2020.

6月1日薩摩半島西方沖の地震



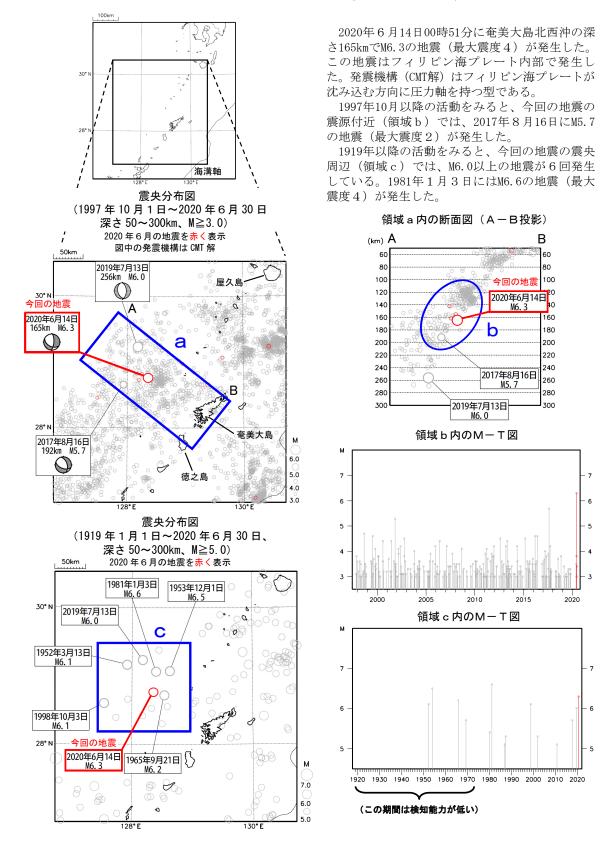
第4図(b) つづき Fig. 4(b) Continued.

(前頁の震源のDD法による再計算結果)



第4図(b) つづき Fig. 4(b) Continued.

6月14日 奄美大島北西沖の地震



第5図 2020年6月14日 奄美大島北西沖の地震

Fig. 5 The earthquake northwest off Amami-oshima Island on June 14, 2020.